

市内 156 例目（県内 218 例目）の概要

令和 3 年 1 月 7 日（木）公表

1 月 6 日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに 1 名の方、市内 156 例目（県内 218 例目）となる感染者が確認されました。

この方は、松江市内在住、20 歳代の女性です。

1 月 5 日に 38 度台の発熱、頭痛の症状があり、市内の医療機関を受診されました。翌 6 日に PCR 検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

患者は、現在保健所の指導の下に自宅で待機し、本日 1 月 7 日、感染症対策を講じた医療機関に入院予定です。

現在の症状は、頭痛があるとのこと。

現在、行動歴調査及び濃厚接触者の調査を実施しております。

発症日 2 日前以降の感染可能期間に出勤されていましたが、不特定多数の方への接客の機会があるような仕事ではなく、勤務先での濃厚接触者は把握できています。

発症日 2 週間前以降の期間において、県外への移動歴はありませんでしたが、感染が拡大している県外の地域から来県された方との接触はあったと伺っております。

今後も調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

政府は本日、首都圏一都三県を対象に、特措法に基づく新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の再発令を決定する見通しです。依然として国内の新規感染者数は過去最多を更新し続けており、県内でも連日新規感染者の発生が確認されています。

新年を迎え、徐々に仕事や学校などの社会活動も活発になってまいります。市民の皆様には会食を含めた感染リスクの高まる場面に十分注意いただき、感染機会の増加につながる行動を控えるなど、感染の抑制にご協力をお願いいたします。

市民の皆様には、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」を徹底いただくとともに、「三密の回避」や「換気と加湿」に引き続きお取り組みいただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者、また医療従事者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。